



# 福西だより

京都市立福西小学校

## 平成27年度 後期 学校評価 まとめ

後期の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回も前期同様に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの観点で設問を設定しました。今回は前期の集計結果と比較しながら、学校教育目標や重点目標がどの程度、達成できているのかを明らかにし、来年度の教育活動を改善したり、新たな取組を考えたりしていきたいと思えます。

### 【確かな学力】

質問項目	朝学習で10分間しっかりと読書に取り組んでいる(児童) 家で読書をしている(保護者) 子どもたちが進んで読書するように取り組んでいる。(教職員)				
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	36.7	43.4	15.4	5.5
	後期	51.6	32.7	12.1	3.6
保護者	前期	15.1	20.5	42.2	22.2
	後期	14.4	26.1	35.3	24.2
教職員	前期	33.3	40	26.7	0
	後期	21.4	42.9	35.7	0

学校では毎朝10分間、読書に取り組んでいます。しかし、前期の結果では、子どもたちの約78%しか朝読書に取り組んでいると答えておらず、約20%の子どもたちが朝読書をしっかりと取り組めていないことが明らかになりました。そこで、この現状を改善するために後期は、図書室での読書指導を週1回可能な限り行い、本に触れる機会を多くするとともに、教科書

教材に関連した作品を紹介したり並行読書に取り組ませたりしました。後期の結果では、朝読書が出来ている割合が約84%と前期より高くなりましたが、子どもたちの様子を見ると、自分から進んで本を読む習慣がついたとは言えなく、学校図書館運営支援員や図書ボランティアの方々と連携を図りながら、本に興味をもたせ、今以上に本を読む習慣が子どもたちに定着するように今後も取組を進めていきたいと思えます。

質問項目	授業の始まりのチャイムを授業をする場所できている。(児童) チャイムとともに授業を始めている。(教職員)				
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	38.9	37.1	19.4	4.6
	後期	42	46.5	9.3	2.2
教職員	前期	6.7	73.3	20	0
	後期	13.3	80	6.7	0

前期は、約25%の子どもたちが教室で授業の始まりのチャイムを聞くことができていないと答え、45分間の授業をしっかりと受けることができていないのではないかと考えました。そこで、後期はこの状態を改善す

るために学校として2つの取組を行いました。まず、前期の約20%の指導者がチャイムとともに授業を始めることができていないという結果から、チャイムが鳴り終わった時には指導者が教室にいることを目指しました。その結果、後期は約93%の指導者がチャイムとともに授業を始めていると答えています。また、3時間目と清掃活動の開始のチャイムに流していた予鈴を1分早く流すように、余裕をもって教室も戻れるようにもしました。これらの取組の結果、今回の調査では約93%の子どもたちが授業開始のチャイムを教室で聞いていると答えました。そのことで前期よりも時間を無駄にせず、授業が行えるようになってきました。今後は子どもたちが生き生きと活動し、分かったと実感できる授業づくりを今以上に目指して取組を進めていきたいと思えます。

質問項目		自分の考えを進んで話したり友だちの意見をしっかりと聞いていたりしている。(児童) 授業で意見を述べたり意見を聴いたりする場面を話している。(教職員)			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	29.3	42.9	23.4	4.3
	後期	36.9	44.9	14.2	4
教職員	前期	13.3	80	6.7	0
	後期	40	53.3	6.7	0

約80%の子どもたちが、授業での話し合い活動に進んで参加していると答えており、前期よりも肯定的にとらえている子どもたちの割合は高くなりました。しかし、積極的に行っていないと感じている子が約20%いるのも明らかになりました。授業では意見交流の場をたくさん取り入れています

が、「何について」や「何のために」話し合うのが明確になっていないと効果的な活動とはなりません。今後は、内容や目的をはっきりとさせることで、子どもたちの話し合い活動への意欲を高め、話し合い活動の質の向上を目指した取組を授業の中で進めていきたいと思えます。

質問項目		相手の気持ちを考えてやさしく行動している。(児童)			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	26	46.4	24.3	3.3
	後期	26.5	57.5	14.6	1.3

### 【豊かな心】

相手の気持ちを考えてやさしく行動できていると答えた子どもたちの割合は、前期よりも10%ほど高くなり、約85%でした。学校では、グループ活動や2

学年での「きょうだい学年」として縦割り活動など人との関わりを大切に活動を行ってきました。来年度は、これらの取組を継続していきつつ、小グループでの活動や遊び以外の活動も行い、すべての子どもが相手の気持ちを考えてやさしく行動できるようにしていきたいと思えます。

質問項目		正しい言葉遣いをしている。／わが子は正しい言葉遣いをしている。			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	15.2	54.3	26.6	3.8
	後期	27.6	50.7	19.6	2.2
保護者	前期	6.5	47.8	37.5	8.2
	後期	8.5	47.1	39.2	5.2

りましたが、それ以外の場面では、相手の気持ちや立場を考えた話し方をすることがまだ十分にできていません。また、言葉遣いが原因で友だちとトラブルになっていることもあり、集計の結果には表れていない言葉の使い方についての課題が多くあります。今後も日常生活の中で、正しい言葉遣いができるように、見逃さず教職員の中で足並みをそろえて、指導していききたいと思います。

質問項目		学校や学級の一員として掃除や給食などの仕事をしている。			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	60.2	30.4	7.7	1.7
	後期	61.9	35	1.8	1.3

懸命に掃除をしている子どもたちがいる反面、他人任せで自分から進んで掃除をしていない子どもたちやおしゃべりをしながら掃除をしている子どもたちもおり、責任をもって最後まで活動できていない状況です。今後は、学校全体で確認した「黙って」「最後まで」「一生懸命に」の3つ言葉を子どもたちが意識できるように、粘り強く子どもたちに声掛けをするとともに、頑張っている子どもたちをしっかりと認め、大人自身が頑張っている姿を子どもに見せていききたいと思います。社会貢献の精神を培うためにも、小学校の時期に当番活動の意味や大切さをしっかりと理解できるような取組を今後も進めていきたいです。

質問項目		自分から進んであいさつをしている。(児童) わが子は自分から進んで挨拶をしている。(保護者)			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	34.5	31.8	27.9	5.5
	後期	61.9	35	1.8	1.3
保護者	前期	15.5	49.2	30.8	4.3
	後期	18.3	49.7	28.1	3.9

前期の結果をふまえ、場所や相手に合った適切な言葉遣いができるように取組を進めてきました。職員室に用事がある時には、扉に貼ってある話し方の型を見ながら、ほとんどの児童が「です」「ます」など丁寧語を使って、話ができるようになりました。

給食当番については、並んで給食室に行くことができたり、教室での配膳もスムーズに行えたり、前期よりもしなければならぬことを意識して活動できていたと思います。しかし、清掃活動については、一生懸命に掃除をしている子どもたちがいる反面、他人任せで自分から進んで掃除をしていない子どもたちやおしゃべりをしながら掃除をしている子どもたちもおり、責任をもって最後まで活動できていない状況です。今後は、学校全体で確認した「黙って」「最後まで」「一生懸命に」の3つ言葉を子どもたちが意識できるように、粘り強く子どもたちに声掛けをするとともに、頑張っている子どもたちをしっかりと認め、大人自身が頑張っている姿を子どもに見せていききたいと思います。社会貢献の精神を培うためにも、小学校の時期に当番活動の意味や大切さをしっかりと理解できるような取組を今後も進めていきたいです。

自分から進んで挨拶をしていると答えた子どもたちの割合は、学校全体としては前期よりも多くなりました。しかし、実際に子どもたちの様子を見てみると数字ほど自分から進んで挨拶ができていないように感じます。また低学年は比較的、

自分から挨拶ができる子どもたちが多く、高学年になると声をかけられてから挨拶をするといった状態で、学年によって挨拶の様子は違いがあるように感じます。先日、地域の見守り隊の方から自分から挨拶ができる子どもたちが少ないというご意見をいただきました。また、保護者の方々の集計結果から、学校の中だけでなく地域の中でも挨拶ができていないことが明らかになりました。今後も「笑顔で挨拶をしたい」と感じられる関係が子どもたちとの間に築けているのか、我々の子どもたちとの関わりについて見直すとともに、道徳の時間や児童会活動を通して挨拶の大切さについて今以上に考えられるように取組を進めていきたいと思ひます。

質問項目		手洗い・うがい・歯磨きをしている。(児童) わが子は手洗い・うがい・歯磨きをしている。(保護者)			
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童	前期	40.1	47.5	8.5	4
	後期	46.9	38.9	11.1	3.1
保護者	前期	28.8	39.5	22	9.5
	後期	32.7	52.9	14.4	0

### 【健やかな体】

手洗い・うがいについては、前期と同じで約85%の子どもたちができていると答えています。大きな変化はありませんでしたが、学校では手洗いの徹底を目指し、給食時には養護教諭が手洗いの方法を紹介したりするなど、直接子どもたちに手洗いの方法を教えたり、保健委員会の子どもたちが児童朝会で正しい手洗いの方法を紹介したりするなど、手洗い100%に向けて取組を行いました。早寝・早起きについても数値的には、前期の結果と大きく変化は見られませんでした。学年が上がるにつれ、就寝時刻や起床時刻が遅くなっている傾向も変わりがなく、家庭での時間の使い方について継続して話をしていきたいと思ひます。お家でも宿題や明日の用意を決められた時間にやり終えることができるようにご協力をお願いします。

最後に、「学校に楽しく通っているのか」という項目については、約93%の子が、できていると答えています。来年度も、『元気いっぱい 学校大好き 友だち大好き 福西の子』を目指して、頑張りたいと思ひます。